

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

## 『RDoC システムに基づく疾患横断的生体モニタリング』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

### 【対象となる方】

2020年7月1日より2024年6月30日までの間に、「精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究」に参加された方

### 【研究期間】

研究実施許可受領後(20XX年XX月XX日)より2025年3月31日まで

### 【研究責任者】 住吉太幹

### 【試料・情報の利用目的及び利用方法】

国立精神・神経医療研究センターでは、精神疾患の幅の広い診断カテゴリーにわたってデータを収集する大規模な多施設共同の患者レジストリ、「精神疾患レジストリ」の構築が進められています。このレジストリは診断の枠組みを超えて、精神疾患をもつ方々の予後や社会生活への影響を予測する因子を予測することを目的とした日本初の試みです。本研究ではこのレジストリに新たに一般成人の情報を追加し、レジストリデータとの比較を行うことを目的としています。とくにスマートウォッチなどのウェアラブル・デバイスで記録された生体情報と精神症状との関連を明らかにすることを目的としています。

### 【利用又は提供する試料・情報等】

研究対象者の基本情報※(人口統計学的情報、診断、アレルギー、家族歴、既往歴、自殺企図歴、喫煙歴、問題飲酒歴、物質乱用歴、学歴、職業、就学・就労状況、婚姻状態、家族構成、ケアギバーの有無、病歴、検査(脳画像・機能、血液生化学、心電図・レントゲン、の実施状況、異常所見の有無)、処方歴(5年間)、薬物療法以外の治療歴、行動制限、障害福祉サービスの受給状況)、処方内容・薬剤服薬歴、フォローアップ時の基本情報、各種心理検査情報、生体モニタリング情報

※個人が識別できないよう加工されたもの

また解析に関するアドバイスを受けるため、個人が特定されないよう加工した情報を千葉工業大学の信川創教授に提供する。

### ○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

所属 児童・予防精神医学研究部 氏名 白間 綾

電話番号

e-mail:shirama※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)